「安全」はあなたの手の中に・・・危険を学ぶことは安全への近道です！

福知山市花火大会火災を踏まえた
イベント会場等におけるガソリンの貯蔵・取扱い時の留意事項

《ガソリンの特性》

 引火点は**－40℃**程度と低く、極めて引火しやすい。

揮発しやすく、その蒸気は空気より**約3～4倍重い**ので、地面に沿って低い所に滞留しやすい。

 流動などの際に発生した**静電気が蓄積**しやすい。

《ガソリンの貯蔵・取扱い時の留意事項》

⚠ ガソリンを取り扱っている周辺で**火気**や**火花を発する機械器具等**を用いない。

例えばガソリンを取り扱っている場所から１ｍ離れた場所に置かれた洗濯機で火災に至った事例や、火気や火花がなくても人体に蓄積された静電気で火災に至った事例が報告されており、ガソリンを取り扱う場合は細心の注意を払わないと容易に火災に至る危険性があります。

⚠ 静電気による着火を防止するためには、**金属製容器**で貯蔵するとともに、地面に直接置くなど静電気の蓄積を防ぐ必要があります。また、**消火器**を必ず準備しましょう。

⚠ ガソリン容器からガソリン**蒸気**が流出しないように、容器は密栓するとともに、ガソリンの貯蔵や取扱いを行う場所は、火気や高温部から離れた**直射日光**の当たらない通風、換気の良い場所とすることが必要です。特に**夏季**においてはガソリン温度が上がってガソリン**蒸気圧が高くなる**可能性があることに留意しましょう。

⚠ 取扱いの際には、開口前の**圧力調整弁**の操作等、取扱説明書等に書かれた容器の操作方法に従い、**こぼれ・あふれ**等がないよう細心の注意を払いましょう。万一流出させてしまった場合には少量であっても回収・除去を行うとともに、周囲の火気使用禁止や立入りの制限等が必要です。衣服や身体に付着した場合は、直ちに衣類を脱いで大量の水と石けんで洗い流しましょう。

⚠ ガソリン使用機器の取扱説明書等に記載された安全上の留意事項を厳守し、特に**エンジン稼働中の給油は絶対に行わない**ようにしましょう。

【ガソリン容器の例】
金属製容器

【ガソリン貯蔵に適さない容器】

【屋台等でガスこんろ等を使用する場合の留意事項】

⚠ **消火器**を準備しましょう。

⚠ ガス漏れを防ぐため、ゴムホース等は器具との接続部分をホースバンド等で**締め付ける**とともに、適正な長さで取り付け、**ひび割れ等の劣化**がないか点検しましょう。

⚠ プロパンガスボンベを使用する場合は、**直射日光**の当たらない**通気性**の良い場所に設置し、転倒しないよう鎖等で**固定**しましょう。

（問い合わせ：福島市消防本部予防課　電話 024-534-9103）